

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|-----------------------|---|----------|----------|----------------|------------|--|--|
| 1 | 新型コロナウイルス感染拡大防止用品確保事業 | ①不足するマスク等を確保し感染拡大防止に繋げる ②マスク等の購入経費 ③医療・介護・福祉施設従事者 | R2.5 | R3.3 | 22,144,640 | 22,144,640 | ・マスク 320,000枚 12,069,200円 ・消毒薬 2,000本 2,032,990円 ・防護服等 3,000枚 4,503,070円 ・ゴーグル・フェイスシールド 1,500個 2,211,880円 ・手袋 120,000枚 1,327,500円 | 新型コロナウイルス感染症の発生や事業所等でのクラスター発生に備えて、衛生材料を備蓄した。備蓄をしていたため、クラスター発生時は迅速に衛生材料の配布を行うことができ、現場での感染対策を充分に行うことができた。その結果、不十分な感染体制からおきる更なる感染拡大を防ぐことができた。 |
| 2 | 新型コロナウイルス避難所感染防止対策事業 | ①避難所における感染防止対策を実施 ②避難所での感染防止を実施するための消耗品・備品等購入 ③市役所、避難所(3ヶ所) | R2.5 | R3.2 | 1,619,268 | 1,619,268 | ・フェイスシールド 244個 76,176円 ・アクリル仕切りボード 6台 166,200円 ・非接触型電子体温計 4個 35,112円 ・非接触型赤外線体温計 17個 289,850円 ・パーテーション 50張 999,900円 ・レコーダー 1台 52,030円 | 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、発災時に公共の空間である避難所の衛生環境が保たれ、避難所における感染機会の削減を図ることができた。 |
| 3 | 学力保障・家庭学習等支援事業 | ①児童生徒の学習支援・学習支援を図る ②学習支援ソフト使用料 ③地方公共団体 | R2.5 | R2.8 | 2,354,660 | 2,354,660 | ・学習用ソフトウェア使用料 小学校1,292,500円 中学校1,062,160円 | 学習ソフト導入によりコロナ禍による臨時休業や分散登校・授業に際しても、学校や家庭でのオンライン学習等を行い、児童生徒の学びの保障を行うことができた。 |
| 4 | 学力保障・家庭学習遠隔支援事業 | ①家庭学習のための通信機器整備支援・学習支援を図る ②ルーターを購入し、各家庭に貸与 ③地方公共団体 | R2.5 | R3.3 | 1,319,988 | 1,319,988 | ・ルーター 220台 1,319,988円 | 家庭学習のための機器の整備により、コロナ禍による臨時休業や分散登校でも、家庭でのオンライン学習等を行うことができた。 |
| 5 | 学力保障・家庭学習遠隔支援事業 | ①家庭学習のための通信機器整備支援・学習支援を図る ②阿蘇インターネット光使用料を市が負担 ③地方公共団体 | R2.5 | R2.6 | 717,288 | 717,288 | ・阿蘇インターネット光使用料 4,598円×78世帯×2月=717,288円 | 家庭学習のための通信使用料の負担により、コロナ禍による臨時休業や分散登校でも、家庭でのオンライン学習等を行うことができた。 |
| 6 | 市立学校感染対策事業 | ①市立学校に感染対策・学校内等での感染対策が図られる ②消毒液、マスク、体温計等購入(学校保健特別対策事業費補助金の横出し上乗せ) ③地方公共団体 | R2.5 | R3.3 | 4,696,624 | 4,696,624 | ・消毒液、マスク、体温計等購入 4,696,624円 | コロナ対策用の消毒液や非接触型体温計等を購入したことにより、感染リスクを低減することができた。 |
| 7 | 地方負担分端末整備事業 | ①GIGAスクールの実現が図られる ②地方設置分児童生徒3分の1分及び教職員の端末整備(児童生徒1/3のうち、未整備分238台) ③全児童生徒の1人1台及び教職員 | R2.9 | R3.3 | 26,847,150 | 26,847,150 | ・地方設置分児童生徒3分の1分(児童生徒1/3のうち、未整備分238台)及び教職員(教師用PC 149台)の端末整備 238台×53,845円=12,815,110円 140台×91,333円=12,786,620円 9台×138,380円=1,245,420円 | ICT機器等の整備により、コロナ禍による臨時休業や分散登校・授業に際しても、学校や家庭でのオンライン学習等を行い、児童生徒の学びの保障を行うことができた。 |
| 8 | スクールバス密集軽減事業 | ①スクールバスの増便し密集を避け感染拡大防止を図る ②スクールバスの増便 ③地方公共団体 | R2.6 | R3.3 | 2,486,000 | 2,486,000 | ・中型バス1台増便 2,486,000円 | 市立学校のスクールバスを増便したことにより、乗車率を抑え、密を回避することができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減することができた。 |
| 9 | 市役所テレワーク等環境整備事業 | ①市役所機能停止を未然に防ぐことを目的に、職員のテレワーク、外部とのオンライン会議、緊急時サテライトオフィス等の体制が可能となるよう環境を整備する ②市役所本庁舎及び2支所に整備するネットワーク構築及びパソコン等の情報機器等の経費に充当する。 ③地方公共団体 | R2.5 | R3.3 | 5,774,340 | 5,774,340 | ・テレワーク等導入に係る情報機器購入 3,575,000円 ・セキュリティ監視保守料14,740円×20台分=294,800円 ・通信暗号化構築手数料 110,000円 ・Wi-Fi用LAN配線作業費 599,500円 ・庁舎行政用Wi-Fiアクセスポイント構築手数料 1,103,080円 ・光ネット回線料4,598円×2回線×10ヶ月=91,960円 | 市役所本庁舎及び2支所に、オンライン会議用無線ネットワークおよび端末を整備したことにより、出張等の移動や密集した会議等、感染リスクが高い行動を抑えることができた。また、テレワーク用端末を整備したことにより、庁舎外での事務が可能となり、感染対策も含めた業務が効率的に進められた。 |

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|-------------------------|---|----------|----------|----------------|-------------|--|---|
| 10 | 阿蘇市事業継続支援補助金 | ①新型コロナウイルス感染防止対策を実施した事業所の事業継続を支援するため ②指定した業種で阿蘇市内に住所を有し、一時休業や時短営業等の取組を行った事業者へ補助 ③地域の卸売業、小売業、宿泊業、サービス業等 | R2.5 | R2.7 | 82,420,000 | 82,420,000 | ・補助金:単価130,000円×634事業者=82,420,000円 | 新型コロナウイルス感染症予防のため、一時休業や時短営業等の取組を行った事業者を支援することで、事業継続を支援することができた。 |
| 11 | 阿蘇市事業継続支援補助金(家賃補助) | ①新型コロナウイルス感染防止対策を実施した事業所の事業継続を支援するため ②指定した業種で阿蘇市内に住所を有する事業者に対し、家賃の1/2、50,000円を上限に補助 ③地域の卸売業、小売業、宿泊業、サービス業等 | R2.5 | R2.7 | 2,280,000 | 2,280,000 | ・補助金:2,280,000円 補助件数:93件 補助要件:家賃の1/2(上限5万円) | 新型コロナウイルス感染症予防対策を行った飲食店及び小売店等に対し、家賃を補助することによって、事業継続を支援することができた。 |
| 12 | 中小企業資金繰り支援利子補給補助金 | ①経費の一部負担をすることで事業者の事業継続を支援する。 ②借入額の36月分の利子額を補助 ③阿蘇市内の中小企業者 | R2.8 | R6.3 | 95,114,874 | 92,388,736 | ・補助金:20,814,874円 申請:115事業者 件数:118件 ・基金:74,300,000円 | 金融機関からの借入れに対し発生する利子を負担することで、事業者の事業継続を目的とした資金調達を支援することができた。 |
| 13 | 通販サイト支援事業補助金 | ①阿蘇の商品のPRと事業者の支援を図るため ②阿蘇の商品を送送する際の送料の1/2 ③通販による販売を行う事業者 | R2.4 | R3.1 | 6,117,000 | 6,117,000 | ・補助金 6,117,000円 補助対象件数:6,779件 | コロナ禍の影響により巣ごもり消費でネット通販が増加しているなか、阿蘇市商品の販売促進とPR及び事業者の支援につながった。 |
| 14 | 阿蘇市商品券事業 | ①商品券を発行することにより地域経済再生のきっかけを創出 ②商品券及び商品券発行に係る経費 ③阿蘇市民及び観光客等 | R2.7 | R4.2 | 193,417,975 | 193,417,975 | ・補助金:193,417,975円 | 商品券事業を実施により新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市民の生活支援、及び市内での消費拡大による事業者支援に寄与することができた |
| 15 | 阿蘇市教育旅行等支援事業 | ①新型コロナウイルスの感染拡大により、外国人旅行者の激減に加え、国内でも移動自粛の動きが広がったことで深刻な打撃を受けている市内観光事業者を支援することを目的とする。宿泊を伴う市内滞在を行う団体に対して必要経費の一部を支援することで、宿泊及び体験・文化施設等への誘客を促進し、収束後の市内観光業界の活性化を図る。 ②スポーツ合宿を含む教育旅行等の団体旅行実施主体に対して、条件に応じて施設使用料や宿泊費または借上げバス費用の一部を補助する。 ③-1. 企業が設立するスポーツ活動を行う団体及び中学生以上で構成する任意に設立されたスポーツ活動を行う団体 ③-2. 教育活動の一環として、教職員の引率により児童生徒が宿泊を伴って行う旅行(修学旅行、校外学習、体験学習等)を実施する学校 | R2.6 | R4.3 | 1,699,450 | 1,699,450 | ・補助金:1,699,450円 スポーツ合宿支援団体 R2 31件 ・ R3 20件 教育旅行支援団体 R3 11件 | 宿泊日数や宿泊客数が多い合宿や、修学旅行の誘致を行うことができ、市内観光業者の事業の継続及び市内観光業の活性化に繋がった。 |
| 16 | 複合健診実施時の新型コロナウイルス感染拡大防止 | ①複合健診実施時の密集を避けるために、受診者待合室の確保を行い、感染拡大防止に繋げる。 ②連棟ハウスリース料 ③複合健診受診者 | R2.7 | R2.11 | 478,720 | 478,720 | ・複合健診待合室用単棟ハウスリース 夏健診 267,025円 秋健診 211,695円 | 狭い健診会場の待合い場所として単棟ハウスを配置したことにより、密集を避けることができ、感染防止に繋がった。 |
| 17 | - | - | - | - | - | - | - | - |

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|--|---|----------|----------|----------------|------------|---|--|
| 18 | 税の申告相談受付における新型コロナウイルス感染症対策事業 | ①不特定多数の方が来場し、かつ滞在時間が比較的に長い税の申告相談受付において、来場者及び代替が難しい税務職員の感染症への罹患の予防を図る。 ②パーテーションによる仕切り、申告相談時の飛沫感染防止、密集の回避、浮遊ウイルス対策、体調不良者の発見、アルコール除菌、来場者のマスク未着用者への対応 ③地方公共団体 | R2.9 | R3.3 | 1,508,618 | 1,508,618 | ・飛沫感染防止机上パネル(3台×3セット=9台・11台):68,090円 ・アルコール除菌シート(136パック):53,174円 ・呼出用ベル40ch(20ch×2台):32,900円 ・感染対策周知用パネル(2枚):15,911円 ・カルトン(釣銭受け)2個:1,126円 ・空間除菌清浄機(1台):352,000円+4,217円=356,217円 ・パーテーション(45枚):656,700円 ・自動体温測定カメラ(1台):324,500円 | 税の申告相談受付に不特定多数の方が来場され、かつ滞在時間が比較的に長い受付時において、来場者及び代替が難しい税務職員の新型コロナウイルス感染症への罹患の予防並びに対策を講じることができた。 |
| 19 | 新型コロナウイルス感染症対策に係る市税等のコンビニ収納サービス導入事業 | ①コンビニエンスストアで時間や曜日に制限されないことで3密を避けて納付できる環境を整備し、感染症対策を図る ②市税等(市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、子ども子育て支援、後期高齢者医療、公営住宅、介護、水道料金の9科目及び収納・口座・OCR日計、滞納整理)のシステム改修 ③地方公共団体 | R2.9 | R4.3 | 8,305,825 | 8,305,825 | ・テスト印刷用帳票印刷(11種類×500枚=5,500枚):242,825円 (委託料) ・コンビニ収納導入業務委託料:7,843,000円 ・OCR読取調整手数料:220,000円 | 全国各地のコンビニエンスストアで、納付者の都合に合わせた時間や曜日に3密を避けて納付できる環境を整備し、新型コロナウイルス感染症対策を講じることができた。 |
| 20 | 学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る) | (感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開等にあたり集団感染のリスク軽減が図られる ②マスク購入 ③児童及び生徒等 | R2.5 | R2.6 | 593,000 | 297,000 | ・マスク購入 12,253枚 593,000円 | 児童生徒学校関係者へマスクを配布したことにより、感染症拡大を低減することができた。 |
| 21 | GIGAスクール端末購入事業 | ①GIGAスクールの実現(公立学校情報機器の購入)が図られる ②国庫補助3分の2の端末整備(国庫補助事業の上乗せ分) ③全児童生徒3分の2 | R2.9 | R3.3 | 10,543,240 | 10,543,240 | ・国庫補助3分の2の端末整備(国庫補助事業の上乗せ分) 1,192台×(53,845円-45,000円)=10,543,240円 | ICT機器等の整備により、コロナ禍による臨時休業や分散登校・授業に際しても、学校や家庭でのオンライン学習等を行い、児童生徒の学びの保障を行うことができた。 |
| 22 | GIGAスクールの実現 | ①GIGAスクールの実現が図られる ②GIGAスクール実現のための通信費 ③全児童生徒及び教職員 | R3.3 | R3.3 | 125,840 | 125,840 | ・阿蘇インターネット光使用料 遠隔学習8校×15,730円×1月=125,840円 | 家庭学習のための通信使用料の負担により、コロナ禍による臨時休業や分散登校でも、家庭でのオンライン学習等を行を行うことができた。 |
| 23 | 公立学校情報機器整備費補助金 | (学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①学校からの遠隔学習機能の強化が図られる ②国庫補助2分の1の遠隔学習機器整備 ③公立学校 | R2.11 | R3.1 | 280,000 | 140,000 | ・遠隔学習機器整備(固定スタンド、マイク等) 8学校×35,000円=280,000円 | 配信機材等の導入により、オンライン授業を配信できる体制を構築できた。 |
| 24 | 公立学校情報機器整備費補助金 | (GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①GIGAスクールサポーターの配置が図られる ②GIGAスクールサポーター委託料(2分の1補助) ③公立学校 | R2.9 | R3.3 | 695,000 | 348,000 | ・GIGAスクールサポーター配置支援事業 695,000円 | GIGAスクールサポーターの配置により、コロナ禍による臨時休業や分散登校・授業に適したICT環境を構築し、オンライン学習等提供することができ、児童生徒の学びの保障を行うことができた。 |

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|--|--|----------|----------|----------------|------------|---|--|
| 25 | 学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る) | (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開に伴う感染症対策・学習保障等が図られる ②需用費(用紙等)、役務費(電話設置費用等)、備品(扇風機、電子黒板等) ③公立学校 | R2.4 | R3.3 | 12,100,000 | 6,050,000 | ・手袋、用紙等、感染症対策・学習保障等消耗品 2,520,000円 ・網戸修繕 900,000円 ・扇風機、電子黒板等、感染症対策・学習保障等消耗品費 8,460,000円 ・学習保障等学習ソフト使用料 220,000円 | 各学校の状況に応じたコロナ対策用品や機器整備等を行ったことにより、感染リスクを低減するとともに児童生徒の学力保障が行えた。 |
| 26 | 児童生徒の学力保障 | ①コロナ感染症による児童生徒の学力保障対応 ②学習支援員の追加配置 ③全児童生徒 | R2.7 | R3.3 | 4,187,000 | 1,348,496 | ・会計年度任用職員月額報酬 3,559,244円 ・会計年度任用職員通勤報酬 245,340円 ・会計年度任用職員期末報酬 382,416円 | 学習支援員を追加配置したことにより、教員と連携し児童生徒の学力保障が行えた。 |
| 27 | 教育施設網戸改修工事 | ①体育館利用者の感染防止を図るため、十分な換気ができるよう窓の改修工事を行う。 ②フロア側面にある窓に網戸を設置する。 ③市立体育館 | R2.10 | R3.3 | 6,426,380 | 6,426,380 | ・阿蘇体育館(第2体育館)網戸設置工事:733,880円 ・教育施設網戸設置工事(体育施設):3,190,000円 ・教育施設網戸設置工事(学校施設):2,502,500円 | 網戸取り付けにより、一層の換気対策を行うことで感染症対策が一層充実できた。 |
| 28 | 図書配本事業 | ①子どもたちの感染症予防のため、図書を配本し、密集を避ける。また、不要な外出を避けるなど多くの制限下にある幼児・児童・生徒が読書を楽しめるよう読書環境の充実を図る。 ②幼稚園・保育園・小学校・中学校に配本する図書資料及び配本時に使用する資料用コンテナを交付対象経費とする。 ③市内小学校5校を対象とする。 | R3.1 | R3.3 | 3,977,328 | 3,977,328 | ・コンテナ×90個=336,600円 ・消毒液5ℓ×4本=37,840円 ・図書2,282冊=3,602,888円 | 児童書の蔵書を増やすことにより移動図書館車で充実した配本事業を行うことができた。それにより本館での密集、不要な外出を避けながらも幼児・児童に読書環境サービスを安定して行うことができた。 |
| 29 | 学校臨時休業対策費補助金 | (学校給食返還等事業) ①学校給食事業支援・学校再開時に安定的に事業継続が図られる ②学校給食食材支援 ③都道府県学校給食会等の食材業者 | R2.6 | R2.6 | 601,677 | 150,677 | ・学校臨時休業に伴う給食食材等補償金 601,677円 | やむを得ず発生した食材費用を補助したことにより、保護者の負担軽減と業者の支援が行え、学校再開時に安定継続した給食事業を行うことができた。 |
| 30 | 森林・山村多面的機能発揮対策事業負担金(補助金) | ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により就業機会が減少した林業従事者が行う里山整備活動に対して助成を行い、雇用の場の確保を図ることや地域の森林の機能低下防止や保全に取り組むことを目的とする。 ②施業面積に基準単価を掛けて、算出した額に対して補助する。 ③熊本県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会 | R2.4 | R3.3 | 1,019,050 | 1,019,050 | ・補助金:1,019,050円 ・里山林保全整備⇒23.53ha実施 ・侵入竹除去・竹林整備⇒9.72ha実施 | 就業機会が減少した林業従事者が、里山整備活動に対して、雇用の場を確保することができ、地域の森林機能低下防止や保全に取り組むことができた。 |
| 31 | 飲食店等コロナ感染症予防対策補助金 | ①飲食店、小売店等における感染症防止のため ②アクリル板、換気扇、サーキュレーター等導入 取組み宣言した飲食店等へのステッカー作成配布 ③阿蘇市内の事業者 | R2.8 | R4.2 | 23,348,000 | 11,674,500 | ・補助金:23,348,000円 294事業所 | 新型コロナウイルス感染症予防対策を行った飲食店及び小売店等に対して支援することで、感染防止につながった。 |

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|----------------------|---|----------|----------|----------------|------------|--|--|
| 32 | 阿蘇市宿泊客誘致緊急対策事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響で利用が著しく減少している市内宿泊施設に対し、宿泊需要の喚起及び宿の利用促進による市内経済の活性化を図る。 ②阿蘇市内の宿泊施設が宿泊料金を割引した場合、市が割引分を補助する。 補助率 2分の1 上限5,000円/1人1泊のみの宿泊 ※消費税、入湯税除く ③旅館業法及び住宅宿泊事業法に基づき営業する、阿蘇市内の宿泊施設 | R2.7 | R4.3 | 76,005,654 | 76,005,654 | ・補助金:7,605,654円 ・延べ宿泊者数:16,585人 R2:8,052人 R3:8,533人 | 新型コロナウイルス感染症の影響により利用が著しく減少した市内宿泊業者へ宿泊料金の割引分を補助することにより、市内宿泊業者の事業の継続及び市内観光業の活性化につながった。 |
| 33 | 阿蘇オンライン体験ツアー推進事業 | ①オンライン体験ツアーは、オンライン上で気軽にインストラクターやガイドと顔を合わせて会話を楽しみながら疑似体験が可能となるもの。今、多くの人々がコロナ禍により外出自粛を強いられている状況下においても、地域間交流が創出でき、結果的に次の機会には実際に阿蘇市に足を運んでもらえるなど、持続的な観光振興につながる。 ②映像の生放送配信のための企画構成、映像撮影、ガイド(有識者)手配等の業務委託費。映像のアーカイブ配信のための編集、多言語化等の業務委託費。 ③地方公共団体 | R3.1 | R3.3 | 4,790,500 | 2,395,500 | ・委託料:4,790,500円 開催日数:2日 6回 延べ参加者数:144人 | 新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛を強いられている状況下において、オンラインツアーを実施することにより、地域間交流が創出でき、次の機会には実際に阿蘇市に足を運んでもらえるなど、持続的な観光振興につながった。 |
| 34 | 阿蘇ワーケーション受入れ環境整備支援事業 | ①ワーケーションとは、「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語であり、観光地でテレワークなどを活用しながら、働きながら休暇をとる過ごし方。働き方改革とコロナ禍による「新しい日常」の奨励の一環として位置付けられている。このワーケーションの仕組みに対応した環境整備を推進することで、滞在機能の強化を図り、大手企業の福利厚生なども兼ねた宿泊需要の増加を目指す。 ②ワーケーション環境に必要な宿泊施設へのワーキングスペース確保のための増改築、Wi-Fiの増設、その他備品の調達などへの補助(4分の3補助、上限100万円) ③旅館業法及び住宅宿泊事業法に基づき営業する阿蘇市内の宿泊施設 | R2.12 | R3.3 | 8,586,000 | 4,295,000 | ・補助金:8,586,000円 31件 | 観光の要となる「宿泊施設」が実践するコロナ感染防止対策や前向きな設備投資等を支援し、宿泊客の受入環境を整備できた。 |
| 35 | 三密回避阿蘇山上展望公園整備工事 | ①中岳火口が1年4ヶ月振りに見学再開となり、10月には国道57号北側復旧ルートも開通となり、コロナ禍の状況下、中岳火口への見学者が増加する見込みにある。この中岳火口における密集を回避するために、阿蘇山上広場に新たな見所として展望所を新設し、来訪者の分散を図り、安心・安全な観光地として整え、誘客を促す。 ②展望公園の測量設計、本工事、付帯工事など。 ③地方公共団体 | R2.12 | R3.10 | 10,931,800 | 10,931,800 | ・委託料:990,000円 ・阿蘇山上展望公園の整備工事:9,941,800円 | 阿蘇山上観光の新たな見どころとして展望所を新設したことで、中岳火口周辺における密集を回避できたことで、新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染予防・拡大につながった。 |
| 36 | - | - | - | - | - | - | - | - |

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|----------------------------------|--|----------|----------|----------------|-----------|--|--|
| 37 | タクシー事業者の感染防止対策支援事業 | ①タクシー事業者が行う感染防止対策への支援を行う。 ②タクシー事業者の感染予防対策の取組みに要する経費について補助する。 ③阿蘇市内のタクシー事業者 | R2.8 | R3.3 | 930,000 | 465,000 | 補助金:930,000円 | 地域住民の足としてその生活を支えているタクシー事業者が行う感染防止対策に係る取組みに対して支援を行うことにより、安心してタクシーを利用できる環境を確保することができた。 |
| 38 | 子ども・子育て支援交付金 | (子ども・子育て支援交付金) ①-1 小学校の臨時休校に伴い、保護者の就業継続と児童の日中見守り活動の実施により児童の安全安心を確保することを目的とする。 ①-2 小学校の臨時休校に伴い、家庭保育の呼び掛けに応じて頂いた保護者の負担金軽減を図る。 ②-1 放課後児童クラブの平日午前中から開所するための経費(11千円)及び人材確保(21千円)に係る経費 ②-2 放課後児童クラブを臨時休業させた場合等の日割り利用料について、市が保護者へ返還した場合等の経費 ③-1 放課後児童クラブ 6クラブ ③-2 放課後児童クラブ 6クラブ | R2.4 | R2.5 | 3,592,000 | 1,198,000 | ・32,000円×134日(6クラブ延べ日数)=4,288,000円 ・180円×4,353人(5クラブ延べ保護者数)+240円×141人(1クラブ延べ保護者数)=817,380円 国の当初予算を除いた金額=3,592,000円 | 小学校の臨時休校に伴い、保護者の就業継続と児童の日中見守り活動の実施により児童の安全安心を確保することができた。 小学校の臨時休校に伴い、家庭保育の呼び掛けに応じて頂いた保護者の経済的負担の軽減を図った。 |
| 39 | 新型コロナウイルス経営安定対策資金 利子補給及び保証料助成 | ①資金の利子及び保証料の一部負担をすることで事業者の事業継続を支援する。 ②借入額の5年間分の利子額、10年間分の保証料を補助 ③阿蘇市内の農業者 | R2.4 | R7.3 | 2,942,925 | 2,565,934 | ・利子補給補助金 406,154円 ・保証料助成金 173,771円 ・金融対策基金 2,363,000円 | 新型コロナウイルスにより経営に影響を受けた農業者の資金繰りについて、利子及び保証料の支援を行ったことにより、負担の軽減が図られた。 |
| 40 | やすらぎ交流館コインランドリー導入事業 | ①新型コロナウイルス感染拡大の影響を乗り越え、持続的、且つ円滑にウイルス対策を進めるためコインランドリーを導入することで、地域の衛生・感染対策面の改善、向上を図り、新しい生活様式を実践することで安心して引き続き本市住民と都市住民との「ふれあい」を活発にし、相互理解による共生関係づくりを促進することを目的とした施設にするため当事業を進めるものである。 ②コインランドリーの導入経費 ③対象施設:阿蘇市なみの高原やすらぎ交流館 | R3.3 | R4.6 | 7,392,000 | 7,392,000 | ・コインランドリー等設置工事:7,392,000円 | コインランドリーの導入により、なみの高原やすらぎ交流館利用者等における新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止につながった。 ※コインランドリーは、モノに付着したウイルス対策として80℃の熱水に10分間さらすことでウイルスを死滅させることができる「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)参照」ことからその有効性も認められている。 |
| 41 | 公共予約システム改修事業 | ①施設鍵管理者と利用者の対面による鍵の受け渡しを無くすことで感染リスクを抑制する。 ②予約システムと連動した電子錠並びにWi-Fi環境整備 ③学校施設、社会体育施設 | R2.12 | R3.3 | 2,690,050 | 2,690,050 | ・公共予約システム改修業務委託:2,690,050円 | 電子錠を導入したことにより、コロナ禍での非対面での施設利用が可能となり、利用者と鍵管理者の感染予防につながった。 |

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|--------------------------|--|----------|----------|----------------|-----------|--|---|
| 42 | 新型コロナウイルス感染防止対策事業(図書館事業) | ①図書館利用者の感染防止を図るため。郷土資料等の貴重書をデジタルアーカイブとして提供できるようにするSnapScanを用いてデジタル化することで、ネットワークを通じて関係機関や利用者に接触することなく資料を提供することが可能になる。※デジタルアーカイブとは所蔵している資料をデジタル化して記録保存すること。阿蘇市発行の郷土資料や発行から50年以上経過している資料を対象とする。また、CO2センサーを用いて図書館内の二酸化炭素濃度を測定することにより、館内の利用者の密集度を数値的に確認し、これをふまえて効率的な換気を行い感染防止を図る。 ②消毒液等の感染防止用消耗品・備品購入 ③図書館利用者 | R3.3 | R3.3 | 457,160 | 457,160 | ・CO2センサーeAir×2個:46,200円 ・コントロールオードイスペンサーSPRAY×2台:49,500円 ・コントロール消毒液5ℓ×7本:75,460円 ・体温検知カメラサーモマネージャEX×2台:286,000円 | 貸出資料や閲覧席の消毒及び来館者の検温・手指消毒により、新型コロナウイルス感染拡大の未然防止を図ることができた。 |
| 43 | 成人式ライブ配信・ビデオメッセージ作成事業 | ①令和3年阿蘇市成人式の入場制限(主催者・来賓(恩師含む)を最小限にし、保護者や家族を制限する。)を実施し感染防止を図る。 ②成人式ライブ配信・ビデオメッセージ作成業務 ③阿蘇市成人式に案内予定であった、主催者、来賓、恩師、保護者等及び欠席する新成人者の約210名 | R2.12 | R3.7 | 484,000 | 484,000 | ・阿蘇成人式ライブ配信等業務委託:484,000円 | 会場内の様子を保護者や家族向けにライブ配信を行い、恩師からの祝辞をビデオメッセージとして会場内で上映するなど、式典会場内への入場制限をすることで、新型コロナウイルス感染症拡大の防止や不安解消につなげることができた。 |
| 44 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 45 | 成人式レンタル衣装キャンセル料支援事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年阿蘇市成人式を延期したことで発生するレンタル衣装のキャンセルに伴う費用負担に要する費用を負担する。 ②阿蘇市成人式レンタル衣装キャンセル料支援事業助成金 ③令和3年度阿蘇市成人式の対象者 | R3.3 | R3.7 | 846,150 | 846,150 | ・成人式レンタル衣装キャンセル料助成金:846,150円 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、予定していた成人式の開催を中止にしたことで、式典で着用するレンタル衣装のキャンセル費用負担の軽減を図ることができた。 |
| 46 | スクールバス密集軽減事業(機器設置等) | ①スクールバス内の感染拡大防止を図る。 ②換気扇取付5台、バス用プラズマクラスターイオン発生機15台、施工中リース車両2月×2台 ③スクールバス利用児童生徒(5小学校、3中学校) | R3.3 | R3.6 | 7,879,245 | 7,879,245 | 委託料:7,879,245円 | スクールバスに感染症機器を設置したことにより、感染症拡大を低減することができた。 |
| 47 | 学校感染拡大防止検査事業 | ①学校関係者等のPCR等検査を行い感染拡大防止を図る。 ②PCR検査、LAMP法検査。 ③学校関係者(阿蘇市立学校児童生徒及び教職員等) | R2.11 | R2.11 | 8,279,700 | 8,279,700 | ・PCR検査(241人×29,700円=7,157,700円) ・LAMP法検査(51人×22,000円=1,122,000円) | 学校関係者等の検査を行ったことにより、児童生徒へ寄り添った支援や不安を抱える児童生徒等学校関係者の不安軽減につなげることができた。 |
| 48 | 庁舎新型コロナウイルス感染症拡大防止用品購入事業 | ①本庁舎及び両支所にサーマルカメラ・消毒スタンドを設置し、感染拡大防止を図る。 ②サーマルカメラ・消毒スタンド購入費用 ③設置箇所:本庁舎、内牧支所、波野支所 | R3.1 | R3.1 | 1,268,300 | 1,268,300 | ・サーマルカメラ×5台:1,215,500円 ・手指消毒スタンド×5台:52,800円 | 入庁時に発熱のある陽性疑いの者を制限することで、クラスター発生を未然に防ぐことで、感染拡大防止と行政の機能停止を防ぐことに努めた。 |

令和2年度 阿蘇市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

| No. | 事業名 | ①事業概要 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 補助対象事業費 (円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-----|--------------------------|--|----------|----------|----------------|-------------|---|--|
| 49 | 新型コロナウイルス感染者発生に伴う庁舎等消毒事業 | ①新型コロナウイルス感染者発生に伴い、市役所本庁舎敷地内の建物の消毒作業を実施する。 ②消毒作業委託料 ③消毒対象施設:本庁舎敷地内施設:6箇所 | R2.12 | R2.12 | 1,210,000 | 1,210,000 | 庁舎内消毒作業業務委託 :1,210,000円 | クラスター等の発生した場合、窓口業務など、住民サービス低下はもとより、行政事務の大きな停滞に繋がるため、陽性者が確認された場合には、専門業者による消毒作業も行い、感染拡大防止に努めた。 |
| 50 | 障害者総合支援事業費補助金 | (特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業) ①特別支援学校等の臨時休業に伴い、保護者が仕事を休めない場合に自宅等で1人で過ごすことができない児童がいる世帯における放課後等デイサービスの利用の増に対する財政支援 ②放課後等デイサービスの代替サービスの提供にかかる利用者負担及び臨時休業により追加的に生じた利用者負担(放課後等デイサービス事業所を通して保護者に払い戻す) ③放課後等デイサービス事業所 | R2.4 | R3.3 | 36,313 | 9,313 | ・特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス利用者負担額増加に対する助成 :36,313円 | 特別支援学校等の臨時休業に伴い放課後等デイサービス等の利用増となった、利用者(37人分)の利用者負担増額分を補助することにより、利用者の負担軽減を図ることができた。 |
| 51 | 母子保健衛生費補助金 | (オンラインによる保健指導等) ①コロナ禍で直接の面談が行いにくい状況の中で、オンライン相談を行うことで、感染予防対策を取りながら成長の確認保健指導が実施できる。 ②オンライン相談環境設定 ③乳幼児および1歳6ヶ月・3歳児健診受診者 | R3.3 | R3.3 | 330,000 | 165,000 | ・妊産婦オンライン相談初期設定手数料:330,000円 | コロナ禍においても、日々の育児に関する不安や相談に対応できるように、新型コロナウイルスの感染予防対策をとりながらも、安心して相談できるオンラインによる相談体制整備を行った。 |
| 52 | 学校保健特別対策事業費補助金事業 | (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①学校における感染症対策支援、子供たちの学習保障支援。 ②需用費(用紙代、トナー代、消毒液、間仕切り、洗剤等)、備品(空気清浄機) ③公立学校 | R3.4 | R4.1 | 7,285,994 | 3,643,994 | ・飛沫防止卓上十字型パーテーションほか:3,414,474円 ・サーマルカメラほか:3,871,520円 | 各学校の状況に応じたコロナ対策用品や機器整備等を行ったことにより、感染リスクを低減するとともに児童生徒の学力保障が行えた。 |
| 合計 | | | | | 669,136,726 | 630,858,593 | | |